

第70回 * 全国高校 スケート

第 1 日

第70回全国高校スケート・アイスホッケー競技選手権（スケートインターハイ）は21日、長野県で開幕し、初日

の競技を行った。県勢はスピードの男子5000mで優勝候補と期待されていた橋本芳彦（八戸西）が頂点に0秒25及ばなかったものの、銀メダルを獲得した。アイスホッケーは1回戦が行われ、八工大一が東北（宮城）を4-1で退けて次戦へと駒を進めた一方、八戸は釧路工（北海道）に大差で屈して初戦突破はならなかった。第2日はスピードで男女1000mと女子3000m、アイスホッケーの2回戦、フィギュアの男女予選が行われる。
（工藤慎子、松田啓志）



村崎「スタミナ不足」
○…女子5000mで県勢最高の40位となった村崎（八学光星）。「弱めのスタミナ不足が結果に出ている」と響をかんた。滑り出しは好調だった。
スタートの号砲とともに大きく腕を振り、ぐんぐん加速し、しかし終盤の疲れからゴール前の直線で足が動かず、タイムを伸ばせなかった。村崎は今季から八学大の練習に参加。大学生との陸上トレーニングで体力面を強化してきたが「まだまだ足りない」ということ。体力もスキルも上げていかないと、課題を口にした。また1年生。「練習を積んで、来年は上位入賞を目指す」と次を見据えた。

【女子5000m】県勢最高の40位だった村崎（八学光星）

東奥日報社提供

この画像は当該ページに限って東奥日報社が利用を許諾したものです